



「2050年までに生態系サービスを維持し、健全な地球を維持し全ての人に必要な利益を提供しつつ、生物多様性が評価され、保全され、回復され、懸命に利用される(※昆明・モントリオール生物多様性枠組み)」世界に向けて、脱炭素・資源の循環・サステナブルな都市づくりのフィールドから世代・業界・国境を超えてサステナブルな社会を作るためのプロジェクトを提供しています。



COP26 延期によって「Mock COP (模擬COP)」を開催し 佐座がグローバルコーディネーターを務める世界140カ国から330名の環境専門の若者が参加。ロビー活動の末、COP26で「教育サミット」開催 →日本を含む20カ国以上が気候変動教育に署名した。



COP27 成果が認められ、初めて若者が会議に参加する席&パビリオンが設けられた SWITCHでCOP27エジプト会場と渋谷をつなぐ



COP28 SWi:TCHが 日本パビリオンの若者トークセッションを担当
「地球ひとつで暮らしていくために」若者と大人世代の共創を促す機会を提供。

若者との共創

SWITCH x 札幌市 | SWITCH x 渋谷区

学生 x 大学 x 企業 x 自治体 でサステナブルな未来を共創 / G7ソフトレガシー

さっぽろ共創モデル



3回の「若者検討会」を実施し、のべ300名以上からの多様なアイデアを「10のアクション」にまとめ、アクションに賛同する企業・自治体とともに共創!



CNUUD
脱炭素都市開発
Carbon Neutral Urban Design



東急グループとの連携

渋谷区小学校での授業

渋谷区長に提言